

沼田市トンネル長寿命化修繕計画（令和5年4月一部改訂）

背景・目的

沼田市が管理する道路トンネルは、令和5年3月時点で計5本あります。建設後50年経過した古いトンネルが3本もあり、今後、更なる老朽化の進行により安全・安心な道路利用が困難となることが予想されます。

トンネルの機能を健全に維持していくためには、「予防保全型」の管理に転換し、施設の延命化とLCCの縮減を図ることが望まれます。

本計画を策定し、投資費用の低減を図りつつ道路の安全・安心を確保します。



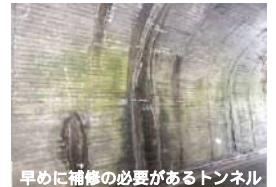
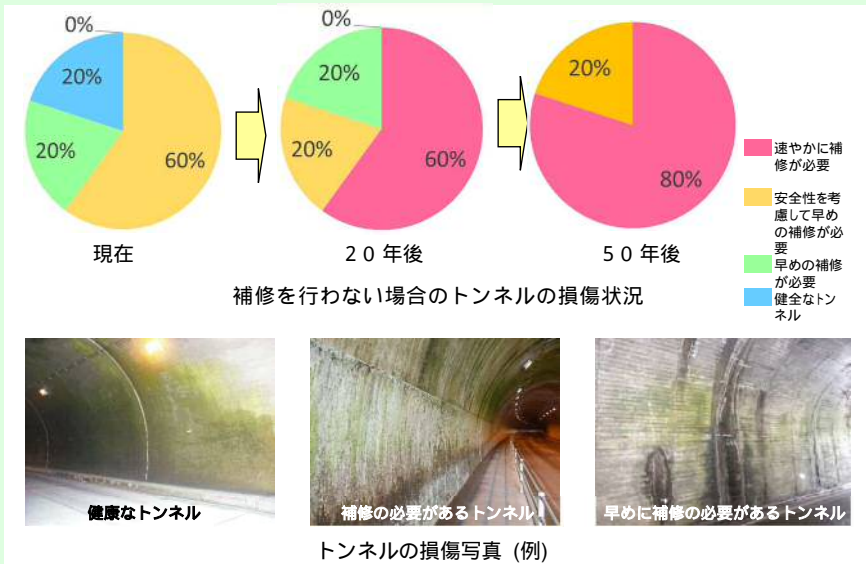
トンネルの劣化・損傷について

トンネルも人の体と同じように、新しく建設されたときから、年齢を重ねるごとに、いろいろな部材が劣化し、損傷が発生します。

発生した損傷を放置するとトンネルを通過することができなくなります。

また、損傷を放置しておくと、2012年の笹子トンネル崩落事故のように、大規模な第三者被害となるおそれがあります。

沼田市が管理する5つのトンネルのうち、「速やかに補修が必要なトンネル」は現在1箇所ですが、補修を行わない場合、20年後に60%（3箇所）、50年後には80%（4箇所）と急増し、多額の費用が必要となるため、限られた予算を効率的に使うためにも、**計画的に補修することが重要です。**



トンネルの損傷写真（例）

今後の長寿命化修繕計画

(1) トンネルの点検

沼田市は、トンネルを次の2種類のレベルで点検管理しています。

日常的な道路パトロールや清掃時の点検
専門業者による定期的な点検

定期点検ではトンネルの状態変化を把握し、損傷が明らかとなった場合には、損傷が大きくなる前に補修を行い、トンネルを健全に保ちます。

また、トンネルを良好な状態に保つため、日常的な維持管理として、パトロール、清掃などの実施に努めています。



(2) トンネルの補修や補強

計画に基づき、計画的に下記の補修や補強を行います。

損傷したコンクリートの修復
はく落防止のための対策

トンネル内の漏水を適切に処理する対策
これらの補修や補強を計画的に行うことで、トンネルの状態を健康に保ち、トンネルを長持ちさせます。



(3) 新技術の活用

今後の点検、補修や補強には、国土交通省の「点検支援技術 性能カタログ」等に掲載されている新技術を活用するなど、効果的・効率的な維持管理を行いコスト縮減に努めます。

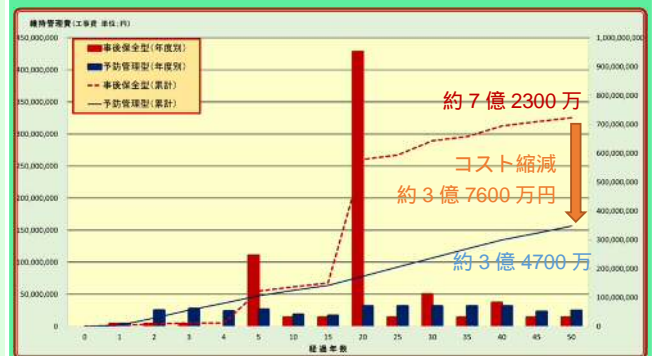


(4) 集約化・撤去

トンネルの損傷の度合い、規模、利用状況などを総合的に勘案し、地域の方々の合意が得られたトンネルに対しては集約化・撤去によるコスト縮減に努めます。

計画の効果

予防的な補修を行うことで、従来のような大規模補修を継続する場合と比べ、事業費を大幅に節約できます。この結果、**今後50年間で約3.8億円の費用が節約できます。**



今後50年間のトンネルの事業費(試算)

- 1: 「事後保全型」とは・・・機能が失われてから対策を講じる保全方法
- 2: 「予防保全型」とは・・・機能が失われる前に対策を講じて機能を維持する保全方法

担当部署

住所：〒378-8501 群馬県沼田市下之町 888 番地
TEL：0278-23-2111
担当：都市建設部 建設課

